

# 大阪

河内

ニュース、写真提供  
催し物等のお知らせ  
は社会部へ

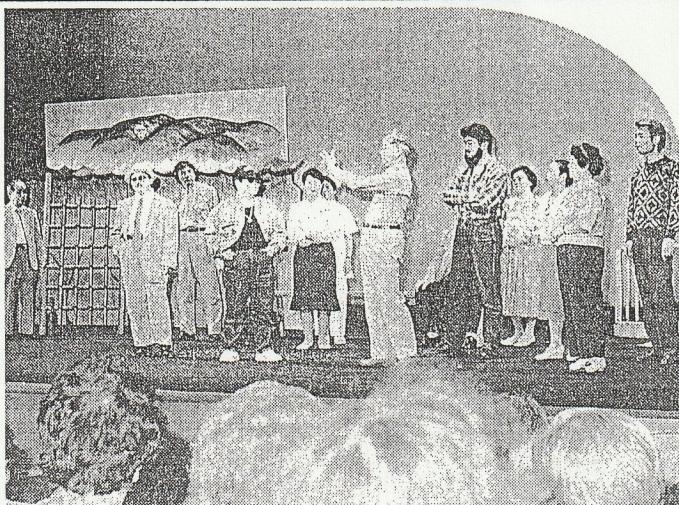
大代表 06(343)1221  
社会部 06(345)3200  
FAX 06(346)2300

販売のご用は  
06(344)2222

## 熱演に盛大な拍手

八尾クリニックスの松尾

八尾クリニックスの松尾



八尾市東本町三の松尾クリニック(松尾美由起院長)の患者と医療スタッフで結成した劇団「松ぼっくり」が十六日、同市光町二の市文化会館で旗揚げ公演を行い

素人とは思えない熱演に盛大な拍手が送られていた。

同クリニックでは短い診療時間以外にも患者の日常生活を指導し、病気の不安

できれば患者の会「松樹会」を結成。病気や治療についての勉強会や七宝焼、書道などの教室を開いて交流を深めている。劇団

くの市民でにぎわった  
患者らの劇団「松ぼっくり」の旗揚げ公演。多

はその活動をさらに進め  
て、病気やその治療について広く知つてもらおうと結成した。

公演で取り上げた「桜屋敷」は横浜市在住の放送作家、篠崎博さんが脚本を書き、松尾院長が演出を担当。八尾の邸宅に住む、元

大学教授が心筋こうそくで倒れ、周囲の人之情に包まれて病気と闘うというストーリー。総勢約四十人の

スタッフ・キャストは十七歳から八十一歳で、キャスト二十二人のうち十七人が

患者。昨年十二月から毎週一回開催して入っていた。

また、幕間には松尾院長

がスライドを使って心筋うそくの症状や治療法の解説を行い、観客は熱心に聞

き入っていた。

土曜日の午後に、待合室でけいこを重ねてきた。

この日の公演は当初、夜

一回だけの予定だったが、見たいという市民らの希望が多く、急きよ昼夜の二回実施。それでも約四百席はほぼ満席という人気ぶり。

初めのうちは観客を前に動きが硬かった出演者も次第に慣れ、一回約一時間半の公演をこなしていた。

また、幕間には松尾院長

がスライドを使って心筋うそくの症状や治療法の解説を行い、観客は熱心に聞

き入っていた。